

<清里中学校>

【教育目標】



はつらつと行動する
心豊かな生徒



【ヒストリー】

昭和22年、清里区には2つの学校がありました。

〔菅原村立菅原中学校〕



〔櫛池村立櫛池中学校〕



昭和30年3月31日に、菅原村と櫛池村が合併し、清里村が誕生しました。2つの学校は、清里村立菅原中学校、清里村立櫛池中学校となりました。

その後、昭和40年3月31日に菅原中学校と櫛池中学校が統合し、4月1日に清

里村立清里中学校が設立されました。でも、初めは菅原校舎と櫛池校舎に分かれての学校生活だったそうです。また、当時は2校舎合わせて12学級、生徒数414名だったそうです。



〔清里中学校 昭和42年～〕



〔清里中学校 平成20年～〕

そしてついに、昭和42年8月、清里中学校校舎が完成し、1つの校舎での生活が始まったそうです。その後、平成16年に上越市合併によって上越市立清里中学校と名前を変え、平成20年に新校舎が完成し、今年是新校舎になって15年目を迎えています。

【学校紹介】

〔自慢の校舎〕

全て木造で、自然を感じ、人と環境にやさしく、ゆとりのある空間で楽しく生き生きと学べる校舎です。そして、学校のシンボルとなるのが、独創的な円形の情報棟(図書館&コンピュータ室)です。

また、各階に多目的トイレ、車椅子用エレベーター、教室や廊下は段差がなく、階段には手すりが付いていて、全ての人に優しいつくりになっています。

〔ぽかぽか交流会〕

生徒はみんな優しいです。それは、お互いのよさを知ったり協力したりする活動を継続して行っているからです。5月は、縦割り班でミニゲームや、鍋作り、10月はオータムフェスティバルなどの活動を行い、学年の壁を越え気さくに話せる関係をつくっています。



製作:清里中学校 令和5年11月作成